

令和元年 7月12日

報 告 書

大田原市広報広聴委員会委員長 櫻井 潤一郎 様

大田原市議会 第2班班長 菊池 久光

大田原市議会報告会実施要項第9条第1項の規定により、下記のとおり報告いたします。

記

1. 日 時 令和元年 7月 3日（水） 午後 3時00分～ 4時30分
2. 会 場 大田原市役所7階 議会フロア
3. 担当議員と役割

【第1部担当議員】	【第2部担当議員】
高崎 和夫（司会進行）	菊池 久光（班長）
小池 利雄（見学案内）	菊池 久光（司会進行・意見交換対応）
秋山 幸子（ " ）	櫻井潤一郎（意見交換対応）
滝田 一郎（ " ）	鈴木 央（ " ）
本澤 節子（ " ）	大豆生田春美（ " ）
小野寺尚武（ " ）	高野 礼子（ " ）
	千保 一夫（ " ）
4. 参加者 別紙受付表のとおり
 - ・市内 18名（男性3名、女性15名）
 - ・市外 4名（男性3名、女性 1名）

5. 意見交換会の内容

- Q 4月27日NHKスペシャル「わが町の議会が危ない」という番組を見させていただいた。大田原市議会にもアンケートがあったかと思うが、30,000人の市議会議員にアンケートを取って、そのうち20,000人から返答があった。AIで分析した結果によると「この議員本当に必要かという議員がいるか?」という問いに72.6%の方が「いないと思う議員がいる」と答えている。内容はどうあれ、議員のなり手がいないなどあるが、批判ばかりしては良い街になっていかないと思うので、身近な議会にするためには議論していくことが必要。小規模でも良いのでもっと意見の出しやすい、話し合える会を継続的に持っていったら良いと思う。質問していない議員、欠席している議員など、どうなっているか解らないが、もう少し市民も議会に対する理解が必要かと思った。私たちが選んだので、議員さんには活躍してもらいたい。更に意見交換会を持っていただきたい。
- A 貴重なご意見ありがとうございます。継続していくというのは非常に大切な部分であると思います。皆さんが思っていることを意見・提言としてお届けいただければ、私共も執行部にお届けするのは可能ですので皆さんの考えをいただければと思います。
- Q 須賀川地区で映画鑑賞会「奇跡の小学校物語」が開催された。35人しかいない小学校の子どもを増やせるかという内容のドキュメンタリー映画。須賀川地区は少子高齢化で、同じような状況である。この状況をやはり市内中心部の方たちにも知っていただきたい。市中心部でもこの映画を上映していただきたい。
- A 市内でも同じような状況の学校があります。市内中心部でもこの映画の上映をしていただきその状況を市内全体でわかってもらえたらという趣旨かと思います。執行部にもそういった話が出ていますという事を総務常任委員会から伝えたいと思います。
- Q 避難所について聞きたい。私は犬を飼っているが、大田原市は避難所にペットは大丈夫か?また、避難所毎の駐車場の確保はどうか?大規模災害時の避難所の間仕切りはどうか?
- A ペットについては国の方針として原則として受け入れるという形になっている。大田原市としても条件はあるが受け入れは可能。あくまでも飼い主が責任を持って面倒をみるという条件のもと可能。駐車場については場所によっては確保が難しい所があるかも知れない。間仕切りは、プライベートルームという事で小さめのテントで市内136張の準備があり、避難所を開設した際にはお持ちできる。ペットの問題も含め、あらためてこのような話があったという事を執行部に伝える。

Q 隣の家の木の枝が伸びてきて困っている。出てきた枝を切ってはいけないことになっているが、条例とか対策はできないか？

A 隣が空き家であったり、太陽光発電設備であった場合には大田原市でも条例の制定ができていますので市からの指導は可能ですが、隣の家の木の枝が伸びてきたので行政が介入してこれを切って下さいというのは、難しい。

Q 人の敷地に入り込んでいるだからそれを切ってもいいとかいう条例を作るとかは？

A 個人間の権利なので市で勝手に条例というのはできない。法律でしかできない。

Q 自治会長とかに相談するのも一つの方法ではないか？どんな人が住んでいるか解らない。自治会としての体制づくりも必要ではないか？

A 地域の皆さんで助け合っていただくのも大切かと思えます。貴重なご意見ありがとうございます。

Q ネグレクトや虐待の問題。昨日も3歳の子供が亡くなった事件があった。このように亡くなってから事件になり報道がされる。大田原市でもそれに近いことがあるのではないか。事件が起きてからではなく、事前に対策してほしい。高齢者についても同じ。こんなときにどこに連絡していいんだろうとか、窓口とかを明確にしてほしい。子どもでも解り易く。

A 早期発見の仕組みづくりや窓口の設置なども執行部に伝えていきたい。

Q 大田原市でも何かあった時に連絡する番号とか大田原市でも考えてほしい。

A ホットライン開設とかも、執行部に対して提言していきたい。議員に伝える方法もあるし、執行部に対しては「もしもし市長さん」という方法もある。

Q 秋田には議員サポーターという制度がある。私たちも議員を理解できていないなということもある。ホットラインの部分ですが、行政のシステムを良く見てみるとそれぞれの部署で対策は取られていると私は思う。もう少し議会に対する理解を深め、議員をサポートすることも必要。私たちが選んだわけですから、批判ではなく支えていく。もっと良くするための意見交換会ができれば良いと思う。

A 大変貴重なありがたいお話をいただきましてありがとうございます。
市民の皆様も、こんなことを議員に話してみたいなという事を常日頃から意識していただき、忌憚のない意見交換ができれば良いなと思います。

Q 大田原市の広報で介護認定を受けている方で45歳から64歳の方が毎年100人以上いるという事を皆さんは知っているか。
大田原市の健康ポイントは2年前から取り組んでいるが、来年の3月までと聞いている。健康ポイントを続けてほしい。

A 介護認定を受けている方が増えているという事は認識していたが具体的な数字までは把握できていなかった。健康ポイントについては、他の市民の方からも続けてほしいという話を聞いているので、今日の意見交換会でもそのような要望があったことを執行部に伝えていく。

Q 健康ポイントを廃止するという事に対してですが、健康セミナーにかなりお金をかけているようだが、それよりも健康ポイントの方が大事だと思う。
割合、今年はこの人呼んだから今年はこの人というより、健康ポイントを継続させていただきたいというのが私たち市民の要望です。その辺を改革していただきたい。提案していただいて改革していただきたい。

A 執行部の方に提言させていただきます。

Q パブリックコメントで市民の声とかもあるが、応募者は一人か二人。パソコンで流されてもどれくらいの人が見ているのか。もう少し解りやすいアンケートの方法を提案してほしい。このことを執行部に対して提案してほしい。

A 意見の吸い上げかたについても検討すべきと伝えさせていただきます。

Q 一人暮らしの年金暮らしでは福祉施設で入れるところがないのでは？

A 特養は何十人も待っていると聞いている。すぐに入れる状況ではない。今は介護3以上が必要となっている。サービス付き住宅ではかなり高額になってきている。年金がどれくらいになるかによってかわるが、国民年金になるとサービス付きは厳しくなってくるのではないかと感じている。

Q 施設をいっぱい作るとかは？

A そういう声もあったが、人口減少が自然減で増えてくる。箱モノを作っても、後でまた空いてしまうという心配もある。あらためて市として作るという事は今のところないと話は前に聞いている。一気に長く入るというよりも、健康に気をつけていただき足腰を鍛え一気に介護度が進むことのないように、皆さんで気をつけていただくことから始めていただければ市の方としてもありがたいのではないかと感じている。

Q 議員はもっと有権者のところに行って話を聞き、もっと市民と寄り添った議員活動をお願いしたい。

A 貴重なご意見をありがとうございます。活動に生かしていきたいと思えます。

6. 議会報告会の所感等

- 今日はこれで良いと思うが、サラリーマンが参加できるよう夜間に開催する日も設けてほしい。
- 意見交換の時間は、やはりもう少し多い方が良い。
- 市議個人の意見はできる限り避け、議会を代表しての意見を述べてほしい。
- ボタン投票の体験は良かった。
- 思ったよりも少なく、もっと多くの方が参加しやすい工夫が必要だと思いました。(たった19人でした)
- 今度は議会を見に来たいと思いました。
- 必ず前向きな答えがほしいと思います。
- たくさんの方たちに参加して頂きたいです。
- こども食堂の現状を再調査してもらいたいです。
- 議員との意見交換は大事なことだと思いました。
- 議員の皆様が大変身近に感じました。これからもぜひ意見交換の機会に参加したいと思います。
- いろいろと問題のある意見がでましたが、議会の方で宜しくお願い致します。(今回の意見を生かしてください)住みよい大田原市にしてください。お願い致します。
- 報告会ではなかったかなと思いました。
- 若い人が参加できないのでは・・・。
- 女団連をグループ毎に意見交換の方が良いと思います。農生研で参加してませんが意見が言えて良かったです。
- 総務常任委員会のうち、1人だけ欠席でした。やはり欠席理由を伝えるべきだと思います。
- 議員の中には流石に適確な回答をしてくれた議員がいます。やはり議員の質が大切だと思います。
- このような会がまめに行われ、たくさんの市民が参加でき、意見が言えたら良いと思います。
- 説明をはっきりゆっくり解り易く話して下さい。地域の活動も大切だと思った。地域と議員さんの繋がりも必要だと思った。
- 初めて参加しました。